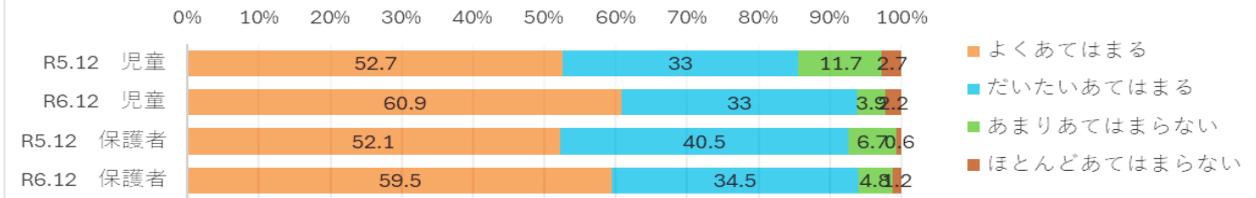


令和6年度 清水小学校の教育 《診断編》

笑顔輝く 日本一の学校

～子どもが笑顔で登校、進んで学び、笑顔で下校する学校～

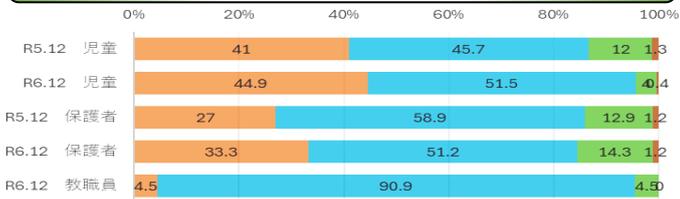
Q1. (児) 学校は楽しいですか。(保) 学校が楽しいと言っている



「楽しい」ということは、子どもが活動する上で全ての基本。アンケートでは、肯定的な回答が昨年12月より約7～8ポイント増加。サプライズよりもルーティーンを大切に、教師が「楽しく、安心で、よく分かる」授業づくりを心がけてきた結果である。しかし、不登校、いきぶりの児童が複数人おり、児童・保護者のそれぞれ8% (約 21 人) にネガティブな回答があることを忘れず、今後もすべての子どもに「学校は楽しい!」と実感できる学校・学級・授業づくりに努めていく。

しっかり学ぶ ～かしこく～

Q2. 学校の勉強はよく分かりますか・勉強がよく分かると言っている・課題とまとめを提示しよく分かる授業づくりをしている



Q3. 自分の考えを発表していますか・お子さんは発表していると言っている・考えを発表する授業づくりをしている



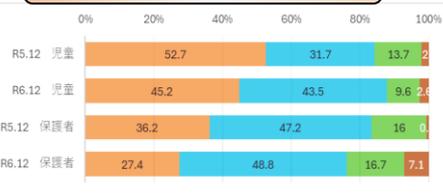
Q4. (児) (保) 目安の時間、家庭学習をしている。



「勉強はよく分かる」の設定で肯定的な回答をした子どもは約96%で昨年同期よりも約9ポイント増加。「自分の考えを発表している」と回答した子どもは65%で11ポイント増加。教職員は、95%が「考えを発表する授業づくり」を意識しており、その成果が徐々に見られてきた。しかし、保護者は5%減少となっているので、今後も「思考力・判断力・表現力」を高める「個別最適で協働的な学び」を生かした学習過程に取り組む。参観日等でも意識的に見ていただくことも必要。学ぶ楽しさが主体性を生み、家庭学習にも好影響を与えていくと考える。

みんな笑顔 ～やさしく～

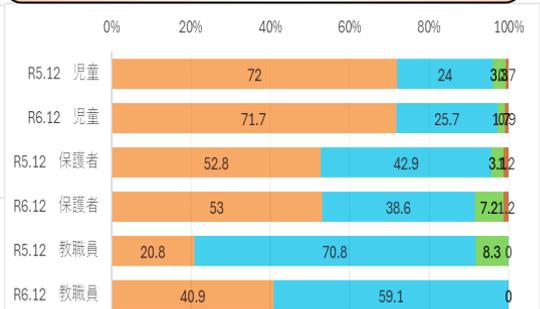
Q5. 元気よく挨拶をしていますか。



Q6. 誰にでもやさしくしていますか。



Q7. (児) 先生は、あなたのお話を聞いてくれますか。(保) 話を聞いてくれると言っている。(教) 話をよく聞いている。



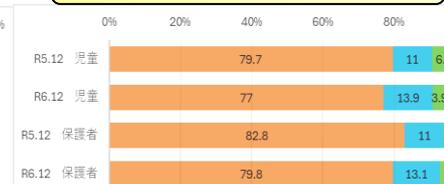
挨拶は1学期を重点期間にし、2学期以降は挨拶も含めたまわりの人への思いやりにポイントを置いた。児童は挨拶だけでなく優しく接することも肯定的な回答が多くなっている。傾聴については、児童は微増、保護者は微減した。教職員は、かなり意識して取り組んでいることが分かるので、今後の継続や実質的な時間の確保などが課題。

ずっと元気 ～たくましく～

Q8. 早寝・早起きをしていますか。

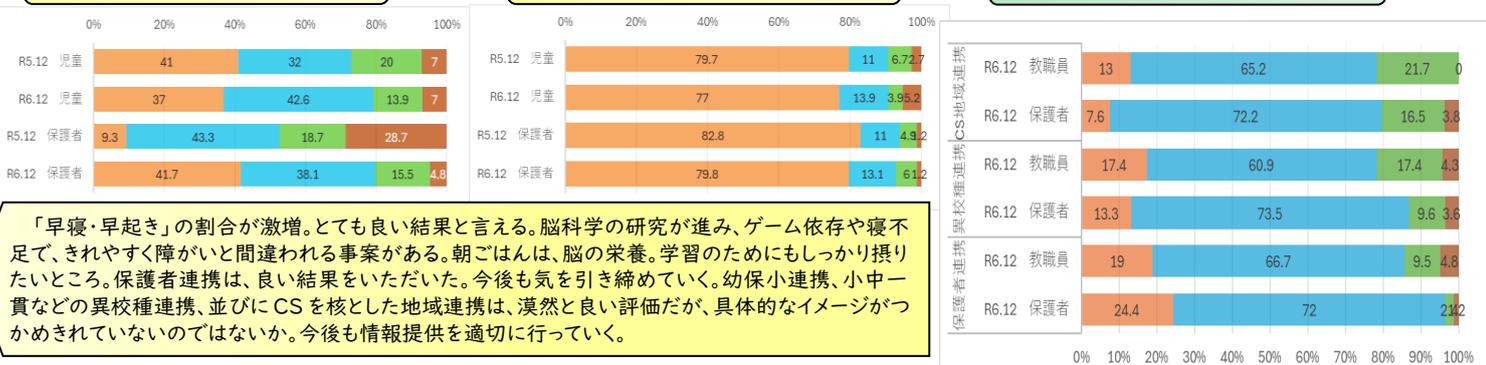


Q9. 毎日朝ごはんを食べていますか。



チーム清水小 ～つながる～

Q10. 保護者・異校種・地域との連携



「早寝・早起き」の割合が激増。とても良い結果と言える。脳科学の研究が進み、ゲーム依存や寝不足、きれやすく障がいと間違われる事案がある。朝ごはんは、脳の栄養。学習のためにもしっかり摂りたいところ。保護者連携は、良い結果をいただいた。今後も気を引き締めていく。幼保小連携、小中一貫などの異校種連携、並びにCSを核とした地域連携は、漠然と良い評価だが、具体的なイメージがつかめきれていないのではないか。今後も情報提供を適切に行っていく。